

2026年6月19日(金)**ハンズオンセミナー**

14:30 ~ 18:00 | 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー1 インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする～切除療法と再建療法の実践

[HS1] インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする
～切除療法と再建療法の実践

*中居 伸行¹ (1. 関西支部/長崎大学)

ハンズオンセミナー

14:30 ~ 15:50 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-1 内視鏡による嚥下機能評価

[HS2-1] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

ハンズオンセミナー

16:10 ~ 17:30 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-2 内視鏡による嚥下機能評価

[HS2-2] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

2026年6月20日(土)**ハンズオンセミナー**

10:40～12:40 | 第5会場（ウイंकあいち 6F 展示場602+603）

ハンズオンセミナー3 口腔内スキャナー・ハンズオンⅠーベーシック・コースー**[HS3] 口腔内スキャナー・ハンズオンⅠーベーシック・コースー**

*馬場 一美²、近藤 尚知¹、*今 一裕³、*深澤 翔太³、*高藤 恭子¹、*大黒 英莉¹、*岩内 洋太郎²、*芦田 圭介² (1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座、2. 昭和医科大学 歯学部 歯科補綴学講座、3. 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学講座)

ハンズオンセミナー

10:40～12:10 | 第6会場（ウイंकあいち 7F 展示場702+703）

ハンズオンセミナー5 磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～**[HS5] 磁性アタッチメントを習得する
～技工操作から取り付けまで～**

*栗原 大介¹ (1. 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)

ハンズオンセミナー

14:00～16:00 | 第5会場（ウイंकあいち 6F 展示場602+603）

ハンズオンセミナー4 口腔内スキャナー・ハンズオンⅡーアドバンスー**[HS4] 口腔内スキャナー・ハンズオンⅡーアドバンスー**

*近藤 尚知¹、*馬場 一美²、*深澤 翔太³、*今 一裕³、*高藤 恭子¹、*大黒 英莉¹、*岩内 洋太郎²、*芦田 圭介² (1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座、2. 昭和医科大学 歯学部 歯科補綴学講座、3. 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学講座)

ハンズオンセミナー

14:00～15:30 | 第6会場（ウイंकあいち 7F 展示場702+703）

ハンズオンセミナー6 補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理**[HS6] 補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理**

*古屋 純一¹、*大澤 淡紅子¹ (1. 昭和医科大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門)

2026年6月21日(日)

ハンズオンセミナー

9:00 ~ 12:00 | 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー7 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

[HS7] 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

*小田 師巳¹、*園山 亘¹ (1. 岡山大学)

ハンズオンセミナー

9:30 ~ 11:30 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー8 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

[HS8] 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

*大谷 一紀¹ (1. 大谷歯科クリニック)

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月19日(金) 14:30 ~ 18:00 | Ⅲ 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー1 インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする～切除療法と再建療法の実践

協賛：株式会社フォレスト・ワン、ガイストリッヒファーマージャパン株式会社、株式会社茂久田商会、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

[HS1] インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする
～切除療法と再建療法の実践

*中居 伸行¹ (1. 関西支部/長崎大学)

ハンズオンセミナー

2026年6月19日(金) 14:30～18:00 | 第5会場 (ウイंकあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー1 インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする～切除療法と再建療法の実践

協賛：株式会社フォレスト・ワン、ガイストリッヒファーマージャパン株式会社、株式会社茂久田商会、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

**[HS1] インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする
～切除療法と再建療法の実践**

*中居 伸行¹ (1. 関西支部/長崎大学)

キーワード：インプラント周囲炎、切除療法、再建療法

インプラント補綴治療は、適切な診断と計画のもとで行われれば極めて良好な長期予後が期待できる治療法である。一方で、一定の割合でインプラント周囲炎に遭遇することは避けられず、臨床に携わる補綴歯科医にとって、その的確な対応は必須の知識・技能となっている。インプラント周囲炎は、進行するとインプラント体の喪失に至る可能性があるが、早期に発見し、適切な処置を行うことで治癒あるいは病態の安定化が十分に期待できる。本ハンズオンコースでは、まずインプラント周囲炎の診断に焦点を当て、プロービング、画像診断、臨床所見の読み取りなど、日常臨床で実践可能な診断プロセスを整理する。続いて、インプラント周囲炎に対する治療の第一選択となる各種外科的療法について解説し、切除療法および再建療法の適応、術式選択の考え方、補綴的視点からの注意点を共有する。後半では、専用模型を用いた実習を行い、フラップデザイン、デブライドメント、除染操作、縫合に至る一連の流れを実践的に学習する。補綴主導のインプラント治療に携わる歯科医師が、インプラント周囲炎に自信をもって対応できることを目的とした実践的ハンズオンコースである。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月19日(金) 14:30 ~ 15:50 | Ⅲ 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-1 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-1] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

ハンズオンセミナー

2026年6月19日(金) 14:30 ~ 15:50 | 第6会場 (ウイंकあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-1 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-1] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

キーワード：嚥下内視鏡検査、嚥下機能評価、検査手技

嚥下障害を疑う場面や介護者から食事に関する相談を受ける機会が、外来診療および訪問歯科診療において増えている。反復唾液嚥下テストや改訂水飲みテストに代表される簡易嚥下機能検査により、ある程度の確度で嚥下障害の有無は評価可能である。しかし、嚥下障害の程度や障害に対する有効な代償法を探し出すには、嚥下内視鏡検査に代表される精密検査が必要である。嚥下機能における精密検査のゴールドスタンダードは、嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査であり、互いの欠点を補完し合う関係にあるが、検査装置の大きさなどの理由から、歯科医院で嚥下造影検査を行うことは困難な場合が多い。嚥下内視鏡検査は、症状と病態の関係を明らかにする「診断のための検査」であり、安全に嚥下可能な食形態・体位・摂食方法などを探しだし治療に活かす「治療のための検査」である。よって、映し出される検査画像から誤嚥や咽頭残留などの所見を見逃さないことも必須だが、既往歴を含む全身状態・服用薬・介護状況・日常の食形態・指示理解度などを総合的に判断し有意義な検査とする必要がある。本セミナーでは、訪問歯科診療でも使用できるポータブルの嚥下内視鏡検査機器を用いて、易出血部位を含む解剖学的ランドマークの確認、鼻腔挿入時から代償法試行時の注意点を含め安全に有意義な検査となる技能の基礎を習得して頂きたい。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月19日(金) 16:10 ~ 17:30 | Ⅲ 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-2 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-2] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

ハンズオンセミナー

2026年6月19日(金) 16:10 ~ 17:30 | 第6会場 (ウイंकあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-2 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-2] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

キーワード：嚥下内視鏡検査、嚥下機能評価、検査手技

嚥下障害を疑う場面や介護者から食事に関する相談を受ける機会が、外来診療および訪問歯科診療において増えている。反復唾液嚥下テストや改訂水飲みテストに代表される簡易嚥下機能検査により、ある程度の確度で嚥下障害の有無は評価可能である。しかし、嚥下障害の程度や障害に対する有効な代償法を探し出すには、嚥下内視鏡検査に代表される精密検査が必要である。嚥下機能における精密検査のゴールドスタンダードは、嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査であり、互いの欠点を補完し合う関係にあるが、検査装置の大きさなどの理由から、歯科医院で嚥下造影検査を行うことは困難な場合が多い。嚥下内視鏡検査は、症状と病態の関係を明らかにする「診断のための検査」であり、安全に嚥下可能な食形態・体位・摂食方法などを探しだし治療に活かす「治療のための検査」である。よって、映し出される検査画像から誤嚥や咽頭残留などの所見を見逃さないことも必須だが、既往歴を含む全身状態・服用薬・介護状況・日常の食形態・指示理解度などを総合的に判断し有意義な検査とする必要がある。本セミナーでは、訪問歯科診療でも使用できるポータブルの嚥下内視鏡検査機器を用いて、易出血部位を含む解剖学的ランドマークの確認、鼻腔挿入時から代償法試行時の注意点を含め安全に有意義な検査となる技能の基礎を習得して頂きたい。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月20日(土) 10:40 ~ 12:40 | Ⅲ 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー3 口腔内スキャナー・ハンズオン1ーベーシック・コースー

協賛：デンツプライシロナ株式会社、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社、インビザライン・ジャパン合同会社、ストローマン・ジャパン株式会社、3Shape Japan 合同会社、株式会社ジーシー、株式会社ヨシダ、株式会社モリタ

本ハンズオンセミナーでは、多種多様な口腔内スキャナーを実際に手にして、インプラントの印象採得などを模型で経験する機会を設ける。

[HS3] 口腔内スキャナー・ハンズオン1ーベーシック・コースー

*馬場 一美²、近藤 尚知¹、*今 一裕³、*深澤 翔太³、*高藤 恭子¹、*大黒 英莉¹、*岩内 洋太郎²、*芦田 圭介² (1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座、2. 昭和医科大学 歯学部 歯科補綴学講座、3. 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学講座)

ハンズオンセミナー

2026年6月20日(土) 10:40 ~ 12:40 | 第5会場 (ウイंकあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー3 口腔内スキャナー・ハンズオン1ーベーシック・コースー

協賛：デンツプライシロナ株式会社、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社、インビザライン・ジャパン合同会社、ストローマン・ジャパン株式会社、3Shape Japan 合同会社、株式会社ジーシー、株式会社ヨシダ、株式会社モリタ

[HS3] 口腔内スキャナー・ハンズオン1ーベーシック・コースー

*馬場 一美²、近藤 尚知¹、*今 一裕³、*深澤 翔太³、*高藤 恭子¹、*大黒 英莉¹、*岩内 洋太郎²、*芦田 圭介²
(1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座、2. 昭和医科大学 歯学部 歯科補綴学講座、3. 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学講座)

キーワード：口腔内スキャナー、ハンズオン、ベーシック

昨今、CAD/CAM冠の口腔内スキャナーによる印象採得が保険収載される予定であることが周知され、日常臨床の現場で口腔内スキャナーを活用する機会が増加することが予想される。これまで、口腔内スキャナーを手にする機会がなく、導入を躊躇されている会員が多いことから、本ハンズオンでは、数種類の口腔内スキャナーを試用できる機会を設ける。セミナーの受講後には、自分に合った一台を選択するための十分な情報収集ができているはずである。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月20日(土) 10:40～12:10 | Ⅲ 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー5 磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～

協賛：株式会社モリタ、株式会社ケディカ

[HS5] 磁性アタッチメントを習得する

～技工操作から取り付けまで～

*栗原 大介¹ (1. 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)

ハンズオンセミナー

2026年6月20日(土) 10:40～12:10 | 第6会場 (ウイंकあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー5 磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～

協賛：株式会社モリタ、株式会社ケディカ

[HS5] 磁性アタッチメントを習得する
～技工操作から取り付けまで～*栗原 大介¹ (1. 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)

キーワード：磁性アタッチメント、吸引力、可撤性有床義歯

超高齢社会において可撤性有床義歯を装着する患者は確実に増加することが予測される。それに伴いクラスプのみならずアタッチメント、インプラントを支台装置に用いた可撤性有床義歯の多様化が求められている。磁性アタッチメントは他のアタッチメントのような機械的な維持機構でないため、有害な側方力や回転力を支台歯に伝達せず、義歯の維持、安定に寄与できることが大きな特徴である。したがって、超高齢社会において受け入れやすい義歯の支台装置と考えられる。磁性アタッチメントの維持機構は磁力を用いているため、小型でシンプルな形状で、維持力の低下が少なく、取り扱いが容易であることなど多くの利点がある。しかし取り付けの不備は吸着面間のギャップによる維持力（吸引力）の著しい低下をもたらすため、義歯床に組み込まれる磁石構造体と根面板に含まれるキーパーを正確に位置付け固定することが重要である。取り付け操作の失敗には吸着面へのレジンの迷入や重合収縮によるエアギャップなどの磁石構造体の位置ずれが挙げられる。磁性アタッチメントは近年、保険収載されたことから、補綴医としてはぜひ身に付けていただきたい臨床技能であり、本ハンズオンセミナーでは、磁性アタッチメントの技工操作から取り付けまでをビデオを併用して解説し、磁石構造体を義歯床に取り付けるスキルを習得していただきたく前回に引き続き、企図したものである。

ハンズオンセミナー**■ 2026年6月20日(土) 14:00 ~ 16:00 | 会場 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)****ハンズオンセミナー4 口腔内スキャナー・ハンズオンIIーアドバンスー**

協賛：デンツプライシロナ株式会社、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社、インビザライン・ジャパン合同会社、ストローマン・ジャパン株式会社、3Shape Japan 合同会社、株式会社ジーシー、株式会社ヨシダ、株式会社モリタ

本ハンズオンセミナーでは、多くの協賛企業の協力を得て、多種多様な口腔内スキャナーを実際に手にして、インプラントの印象採得などを模型で経験する機会を設ける。

**[HS4] 口腔内スキャナー・ハンズオンII
ー アドバンスー**

*近藤 尚知¹、*馬場 一美²、*深澤 翔太³、*今 一裕³、*高藤 恭子¹、*大黒 英莉¹、*岩内 洋太郎²、*芦田 圭介²

(1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座、2. 昭和医科大学 歯学部 歯科補綴学講座、
3. 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学講座)

ハンズオンセミナー

2026年6月20日(土) 14:00 ~ 16:00 | 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー4 口腔内スキャナー・ハンズオンIIーアドバンスー

協賛：デンツプライシロナ株式会社、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社、インビザライン・ジャパン合同会社、ストローマン・ジャパン株式会社、3Shape Japan 合同会社、株式会社ジーシー、株式会社ヨシダ、株式会社モリタ

**[HS4] 口腔内スキャナー・ハンズオンII
ー アドバンスー**

*近藤 尚知¹、*馬場 一美²、*深澤 翔太³、*今 一裕³、*高藤 恭子¹、*大黒 英莉¹、*岩内 洋太郎²、*芦田 圭介²
(1. 愛知学院大学 歯学部 冠橋義歯・口腔インプラント学講座、2. 昭和医科大学 歯学部 歯科補綴学講座、3. 岩手医科大学 歯学部 歯科補綴学講座)

キーワード：口腔内スキャナー、ハンズオン、アドバンス

スキャンに要する時間だけでなく、ハンドリング、ソフトウェアの充実度について、経験豊富な講師からアドバイスを受け、口腔内スキャナー活用のメリットが実感できるセミナーとする予定である。アドバンスコースでは、臨床の現場を模し、スキャンボディを用いたインプラントの印象採得などにトライする。セミナーの受講後には、自分に合った一台を購入するための十分な情報収集ができていくはずである。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月20日(土) 14:00 ~ 15:30 | Ⅲ 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー6 補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理

共催：一般社団法人 日本老年歯科医学会

協賛：株式会社ジーシー、株式会社ヨシダ

[HS6] 補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理

*古屋 純一¹、*大澤 淡紅子¹ (1. 昭和医科大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門)

ハンズオンセミナー

2026年6月20日(土) 14:00 ~ 15:30 | 第6会場 (ウイंकあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー6 補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理

共催：一般社団法人日本老年歯科医学会

協賛：株式会社ジーシー、株式会社ヨシダ

[HS6] 補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理

*古屋 純一¹、*大澤 淡紅子¹ (1. 昭和医科大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門)

キーワード：口腔機能低下症、オーラルフレイル、チーム医療

超高齢社会の進展に伴い、口腔機能低下症はオーラルフレイルの重要な構成要素として位置づけられ、健康寿命の延伸や補綴治療の長期予後に大きく関与する病態として注目されている。口腔機能低下症は、口腔機能の軽微な低下が複合的に生じる段階であり、早期に評価・介入を行うことで機能低下の進行抑制が期待される。そのため、日常臨床において口腔機能を適切に評価し、継続的に管理していく体制の構築が求められている。補綴治療においても、単に欠損補綴を行うだけでなく、咀嚼・嚥下・構音といった口腔機能を包括的に評価し、機能低下を早期に捉え、適切に管理していく視点が不可欠である。本ハンズオンセミナーでは、口腔機能低下症の診断に必要な口腔機能精密検査について、臨床現場で正確かつ効率的に実施するための手技を習得することを目的とする。具体的には、口腔衛生状態、口腔乾燥、咬合力、舌口唇運動機能、舌圧、咀嚼機能、嚥下機能といった各検査項目について、測定方法、評価のポイント、結果の解釈を整理し、検査結果を口腔機能管理や補綴治療、オーラルフレイル対策へつなげる視点を共有する。本セミナーは主に歯科衛生士を対象とし、歯科医師の参加も想定したうえで、歯科医師と歯科衛生士がそれぞれの役割を理解し、協働して口腔機能低下症の評価と管理を行う臨床の実践につなげることを目指す。

ハンズオンセミナー

📅 2026年6月21日(日) 9:00 ~ 12:00 | 📍 第5会場 (ウイנקあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー7 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

協賛：株式会社松風、クインテッセンス出版株式会社

[HS7] 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

*小田 師巳¹、*園山 亘¹ (1. 岡山大学)

ハンズオンセミナー

2026年6月21日(日) 9:00 ~ 12:00 | 第5会場 (ウイंकあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー7 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

協賛：株式会社松風、クインテッセンス出版株式会社

[HS7] 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

*小田 師巳¹、*園山 亘¹ (1. 岡山大学)

キーワード：上皮下結合組織移植 (CTG)、歯槽堤増大術、歯肉造成術

患者が求める“審美”は高度化しており、補綴歯科治療の長期的な成功を得るには、補綴装置だけではなく、周囲軟組織に対する配慮が求められる。軟組織が経年的に変化することは経験的にも明らかであり、特に薄いフェノタイプでは外傷や炎症に対する感受性が高く、歯肉退縮のリスクが高いことが知られている。補綴歯科治療に着目した場合、クラウン装着そのものや歯肉縁下への介入によって歯肉退縮のリスクが高まることが報告されており、長期的に安定した周囲軟組織を得るには、軟組織の厚みを確保することが重要な要素のひとつであると考えられる。軟組織への介入手段であるペリオドンタルプラスチックサージェリーは、適切な診断に基づいて、適切な手技を用いれば、その効果はたいへん大きい。なかでも、上皮下結合組織移植 (connective tissue graft: CTG) は軟組織の厚みを増すための最も効果的な手技とされており、CTGによって造成された軟組織が長期的に安定しうることも多く報告されている。したがって、CTGを必要に応じて患者に適応できるスキルを持つということは、我々が行う補綴歯科治療が、患者に長期的に高い審美レベルで受け入れられるために必須であると言っても過言ではない。そこで、本セミナーでは、補綴前処置としてのCTGを用いた“天然歯周囲の歯肉造成術”と“欠損部位に対する歯槽堤増大術”を取り上げ、その背景と手技の再確認を行いたい。そのうち、“口蓋からの上皮下結合組織採取”と“上皮下結合組織を用いた歯槽堤増大術”について、ハンズオン実習を通して習得していただきたいと考えている。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月21日(日) 9:30 ~ 11:30 | 会場 第6会場 (ウイנקあいち 7F 展示場702+703)

■ **ハンズオンセミナー8 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する**

協賛：株式会社ジーシー

[HS8] 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

*大谷 一紀¹ (1. 大谷歯科クリニック)

ハンズオンセミナー

2026年6月21日(日) 9:30 ~ 11:30 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー8 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

協賛：株式会社ジーシー

[HS8] 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

*大谷 一紀¹ (1. 大谷歯科クリニック)

キーワード：接着ブリッジ、ジルコニアセラミックス、シングルリテーナー

前歯部一歯欠損では、パーシャルデンチャーや3ユニットブリッジ、インプラントが選択される一方、低侵襲治療を望む患者には受け入れられないことも多い。その中で、最小限の切削量で修復可能な接着ブリッジが有効な選択肢となる症例も少なくない。本ハンズオンでは、接着ブリッジ成功の鍵となる支台歯形成と装着操作に焦点を当て、日常臨床で即実践するための知識と技術の習得を目的とする。